

平成26年 第14回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成26年9月25日(木曜日) 午後3時開会/午後4時50分閉会
招集場所 石川県九谷焼美術館2階 ホール
出席委員 上田政憲、酒谷百合子、畑中直子、中西修一、山下修平
会議列席者 掛山事務局長、網谷次長兼学校指導課長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、中田スポーツ課長、
田嶋文化財保護課長、宮下観光交流課長、矢嶋中央図書館長、柏田山中図書館長、
米屋教育庶務課長補佐

上田委員長 平成26年第14回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

審議事項が2つございます。議案第47号について、梶谷課長お願いいたします。

- 議案第47号 平成25年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 去年に比べると随分厚いんですね。

梶谷課長 評価事業数が増えてページも倍になりました。例年に比べまして、新しい様式になり事業が増えたことで、ちょっと作るのが遅れてしまいました。去年は9月に議会へ報告できたのですが、10月になってしまいました。今後、議長にまず報告というかたちをとります。

上田委員長 梶谷課長からご説明がありましたように、教育振興基本計画に沿ったかたちで、田邊先生のご指摘があったらしいのですが、去年と比べて随分厚くなって時間が非常にかかったということがございます。見たのは昨日が初めてですから、すぐにご指摘等は難しいかと思っておりますので、じっくりお読みになってお気付きの点がございましたら教育庶務課長までご連絡いただければと思います。何かご質問ございませんか。いつ頃までにご連絡すればよろしいですか。

掛山局長 10日頃までをお願いいたします。

上田委員長 では、もしお気付きの点がございましたら、10月10日頃までに梶谷課長に連絡したいと思います。以上でよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

上田委員長 では、議案第48号について、西出課長お願いいたします。

- 議案第48号 かがっ子 ノー携帯・ノースマホ運動について
西出課長 資料に基づき説明

上田委員長 ずっと懸案であったわけですが、携帯・スマホを小学生、中学生に持たせないということを基本として、4つの項目を説明していただきました。最近ではゲーム機が

らもインターネットに繋いで使える、むしろ小学生はその方が多いのではないかと
思うんですけども、ゲーム機からというお話はなかったのでしょうか。

西出課長 チラシの下に書いてあるんですが、携帯電話やスマートフォンには、ゲーム機や携
帯 ipod、携帯音楽プレイヤー、タブレット端末を含むということで、特に親御さん
でゲーム機とか ipod などの音楽プレイヤーがインターネットに繋がるということを知
らない方もたくさんおいでますので、この辺のところを一番周知してほしいと PTA
でも出ていました。それと、学校とかでも保護者を集めての説明会のときには研修
会で強く言うておられるそうです。それから任天堂さんの CM で、フィルタリングを
かける方法もテレビで放送されるようになりましたので、今後そういう部分が進ん
でいくのではないかと思います。

上田委員長 他にお聞きになりたいことはございませんか。はい、中西委員。

中西委員 質問じゃなくて提案なんですけども、僕の管轄の金明小学校で、今年の春の授業参
観でスマホ・携帯のことを講義してくださる方を呼んで、親、子どもを交えてスマ
ホのことについて考えるという取り組みをしていました。ぜひそういうことも一つ
取り組みとしてやってもらえたらと思います。

山下教育長 この色塗りのものが全家庭に行くんですけど、その他に学校長宛てと PTA 会長宛て、
保護者宛ての 3 種類の依頼文書を作っておりまして、その最後の方には「学校では
この機会に児童会、生徒会で携帯電話やスマートフォン等の取り扱いについて話し
合いの場を設けたり、子ども達でルール作りを行うなど、学校独自の取り組みにつ
いてご返答くださいますようお願いいたします。」と書いてあるんです。それから PTA 会
長宛てには、各小中学校の保護者の方々への啓蒙や学習会等の開催の取り組みをお
願ひしております。それから保護者宛てには「ご家庭で携帯電話やスマートフォンの
取扱いは、子ども達が他人を中傷したり、公共ルールやマナーに反するような
情報発信をすることがないよう、使い方についても子ども達とよく話し合い、それ
ぞれのご家庭でルールをお作り下さいますようお願い申し上げます。」と書いてあり
ます。これは今後の取り組みなんですけど、今度の校長会でも話したいと思うん
ですが、学校にはこうやって私から言うだけじゃなくて、生徒会や児童会で、子
ども達で何かできないか。例えば一日使用は何時間にするとか、何曜日は全く使わ
ないとか、もしこれができなかつたらどうするとか、そういうようなことを学校独自
で話し合ってもらいたいと思うし、保護者会、PTA 総会、新入生保護者会とか、何し
ろあらゆる保護者会で啓蒙していつてもらいたいし、PTA と一緒に今言われたよう
な知らないことがいっぱいあるので、学習会を催すような取り組みをお願いしたい
のと、保護者にはこういうルールは出しますが、家庭内でうちはこういうふうにし
ようとか、中学校 3 年生くらいになって親に預けるのは無理だという場合になつ
たら、預からなくてもいいけど電源だけはきちんと切っておくようにとか、その家庭、
その家庭でできるような、小学校の場合は 9 時と言わずに 8 時だという家庭があ
ってもいいと思うので、これを通して親子でコミュニケーションをより一層図れるよ
うなことをしていただきたいと思いますし、教育委員会としても講師を呼んで講演
会をするとか、今のところそういうことを考えております。

上田委員長 はい、酒谷委員。

酒谷委員 基本的に小中学生に携帯電話やスマートフォンを持たせない。特別な事情があつて持たず場合、その特別な事情というのは。

西出課長 チラシの星印に少しだけ説明してあるんですけども、防災、防犯、その他塾とかの連絡が入ります。

酒谷委員 塾とかの連絡になるとほとんどの方じゃないですか。だから基本的に特別な場合というのは、もちろん防犯ということに関してはいるんだけど、ここのところもう 1 回、持たせないけれども、持たず場合はああしましょう、こうしましょうということばかりなので、家庭でルールを決めると言ってもそれが守れるのかなと思うんです。基本的に持たせないということを何とか、理由としたら色々あります。塾の連絡とか、もし帰りに不審者がいたらどうするのかと言ったら切りがないと思うんです。すぐにぼけてしまうような気がするんですけど、もうちょっと何か具体的な取り組みがあってもいいのではないかなという気がするんですが。

西出課長 「いしかわ子ども総合条例」もこういう表現でありまして、特別な事情ということで防災、防犯についてはもちろんブザーとかもあるし、やはりそういう送り迎えの利便性という部分もあると思うので、なかなか表現的には難しいものがあります。

酒谷委員 ここまでやるのであれば、もうちょっと持たせないような方向で加賀市独自でできないものですか。

掛山局長 西出課長も申しましたけども、あくまでも「いしかわ子ども総合条例」を基本に作っているんです。いしかわ子ども総合条例でも持たせないと言っているんですけども、そこまで縛りがかけられていない。実際は「特別な事情」という文言で書かれているんです。そこまでの縛りをかけられないというのは、あくまでも「しましょう」というお願いの部分なんです。どこまで家庭の中の事情に入り込めるかというのはなかなか難しいんですけど、教育委員会としては「しましょう」という、ここを一步踏み出ただけでも違うので、そこは評価していただきたいのと、この 3 番目ですね、夜 9 時以降は持たせないというのは加賀市独自、他市ではありますけども、石川県内では初です。ここを加賀市としては強調していきたいというふうに思います。夜 9 時以降のラインの既読無視で子どもさんが仲間外れにされるということで、いじめにあう、こういうところを強調していきたい。ただし、子どもさん同士、それから親と子どもさんが話し合っただけでルールを作ってくださいなんですが、酒谷委員がおっしゃるようなそこまでの強制力はいしかわ子ども総合条例でもなかなかできていないという部分のご理解いただきたいと思います。

上田委員長 はい、教育長。

山下教育長 今日の新聞に金沢の学力テストの公表が出ていたんですけども、その中で携帯電話の所持率は小学校 6 年生で昨年の 36.2%から 42.8%、中学校 3 年生では 42.3%から 66.9%に上昇したんです。もう金沢では 6 割から 7 割が持っているという状態だから、正直言って持たせないというのはすごく難しいハードルかなと思います。持たすのは結局親なので、親が本当は責任を持たないといけないが、トラブルがあったときには学校に言ってくる。そうすると、持たせてしまって今一番問題なところは、

ライン外しとか既読無視、ライン疲れ、いつなるとき入ってくるかわからないものをずっと持って、夜中まで持って、きたらすぐに返事を出さないといけない。これを読んでそのままにしておくとか既読無視と言われていじめにあうというような現状が出てきているので、持ったがために本人も大変困っている。親も困っている。この困り感を少しでも取り除いてやりたい。そのために睡眠不足になる、勉強時間が不足になる、朝起きられない、学校に行って眠たくなるという乱れが出ている。決してこんな取り組みをしたって100%解決できるとは思っていません。今これを言って、中学3年生や2年生ができるかといったらかなり厳しいところがあると思うので、私らとしては、小学校のところでしっかり親御さんと話をして、できたら100%くらい徹底してほしい。それが中学校へ行ってもその流れでそのまま継続しているというかたちでできないかと、そうすると何年後には小中学生は夜9時で親が預かるということができて、さっき心配したような既読無視といったことが防げるのではないかと思っております。だから、我々として持たせないというのは至難の業だなと。親がそれなりの自覚を持ってもらわないといけないのと、親が持たせたときにこんなに大変な目に合うんだということを知ってもらわないといけない。そのためのことを教えないといけない。もう一つ、この取り組みを始めないといけないと思ったのが、刈谷市がこの運動をしたときに、雁が音中学校というところが1ヵ月後にアンケートをとったら、49%の生徒が夜9時以降は親に預けるという取り組みに賛成しているんですね。いかに子ども達がラインのことで困っているかということが目の当たりにできるので、これを見たときに子ども達もまんざら反対していないんだと、それはぜひ我々のところもやらないといけないなという思いからやろうとしたわけで、金沢の現状を見て私も驚いたんですけど、加賀市内はまだそこまでいっていない。3割から4割程度だろうと思ってるんですけど、それを阻止しながらこのルールを守らせたいという願いがあります。

上田委員長 ありがとうございます。酒谷委員さんのおっしゃることはもっともです。教育長からもあったように、やはり子どもももちろんなんですけど、保護者と両方の啓発といますか、このあたりが一番大事になってくるでしょうし、これからがスタートなんだという気はしています。そういう意味で対応の仕方は当然変わってくるでしょうし、そのためには学校の方で主体的になっていただいて、使用について保護者を巻き込んだ啓発活動を行ってほしいなというふうに思います。他に何かございませんか。はい、畑中委員。

畑中委員 先日、橋立小学校の計画訪問へ行ったときに、子ども達のゲームをする時間を減らしたいという2学期の目標が結構たくさんあって、小学生が悩んでるというか、毎日お酒を飲む大人が止めたいと思っても周りにお酒を飲もうと誘われるように、ラインでも自分達だけではなかなか難しいし、ある種の強制力がないと子ども達もどうしたらいいのなかなか難しいので、啓発していただければと思います。

山下教育長 それについてなんですけど、先程も言ったように子どもも親も困っているけど、親が自分の子どもに「そうしなさい」となかなか言えない現状なんです。だから、PTA 連合会と青少年育成協議会と学校と教育委員会の全部でやるからということで

地域共通のルールを作れば、親が「学校でこう言われているから駄目なんや。」という大義名分ができるし、子ども達も「9時になったら親に預けるし返事できなかったんだ。」と言い訳もできます。そんな意味では個人でするよりある程度の強制力もあるし、親も言いやすいのではないのかなと。できれば私らは加賀市だけじゃなくて、小松にも広がり、他にも広がり、せめて石川県みんなが同じようなことをやってくれば少しはそういったラインなんかの苦労も減るかなと、そういう呼びかけもしていかないといけないと思うんですけども。

上田委員長

そういう意味でもやっぱり学校が協力して、親御さんもそういう拠り所がないと、なかなか子どもに言い聞かす大義名分がないと難しいのかもしれない。その辺りを何とかうまくスタートしていただきたいなと思いますね。他に何かございませんか。はい、中西委員。

中西委員

金沢の所持率を見ていると、50%を超えてくると持つのが当たり前というような空気や風潮になってしまって、なかなかこの持たせないと謳っていることの実現も難しくなりますけど、具体的に何%くらいという数値目標はあるんですか。

西出課長

今は特に考えてないんですけども、今年はまだなんですが、去年の所持率をアンケート調査したものでは、小学校で20%、中学校でも30%前半だったと思います。ただ、この1年で増えているのではないかと思います。確かに光と影の部分があって、やっぱり文明の利器ですので、そういう光の部分で先進的な部分、科学的なものに遅れてはいけませんし、あるいは影の部分で危険のあるサイトとかの区別も紙一重で、講習会でもそのところは光の部分と影の部分があるということではなかなか難しいんですけども、私らはやっぱり先程教育長もおっしゃいましたが、小学生には絶対に持たせないような取り組みを、中学生には本当に特別な事情がある場合には、という雰囲気になるように今後取り組んでいければと思います。

上田委員長

はい、網谷次長。

網谷次長

学校指導課の方でもアンケート調査をしてまとめた昨年度のものはあるんですが、やっぱり所持率が年々上がっているのも事実ですし、小学校6年から中学校に行った途端に携帯やスマホの所持率が一気に増えるという実態もあります。それから、小学校、中学校の双方でもそういった携帯電話に関わるトラブルが増えてきているのも事実です。各学校現場では、1~2年ぐらい前から各学校で非行被害防止講座というのを年1回必ずやっています。その保護者向けの会のときに学校側の仕掛けで、携帯・スマホの問題に関わるようなことの講座を毎年どこの学校でもやってきているんですが、所持率は年々上がってきています。要するに携帯・スマホの怖さについて認識してもらうために、学校側もそういう保護者向けの啓蒙の講座を設けるんですが、それでも増えている傾向にある。ですから、これはもう学校だけでやっても歯止めがきかないということの例であります。学校指導課としても生涯学習課の提案するこちらについてはこれを機会に、中西委員がおっしゃるような具体的な数値目標もやっぱり必要ですし、校長会を通じて学校には言っていきたいと思えます。

上田委員長

今のお話にありましたように、完全に持たせないのはなかなか難しいだろうと、た

だ、4 番の 9 時以降は親が預かるということを徹底できれば、他の市町村の大きな励みになって、健全育成という意味で皆もしていくのではないかと考えております。学校でもいろんな取り組みはなさっていると思うんですけど、その辺りはやっぱり PTA の皆さんにご協力いただくしかないでしょうから、学校ごとにお願ひせざるを得ないのかなと思います。それでよろしいでしょうか。なかなかうんとは言えませんが。

酒谷委員

「持たせない」と一番始めにこの文言がありますけど、基本的に私は持たせないということで、じゃあこの学校は持っていない子がぐんぐん増えましたよという方がとっても大事だと思うんです。今話を聞くと、夜にメールが来たらずぐに返事を出さないといけないから眠れないとか、いいことが一つもないと私は思うんです。基本的にはこの 1 番の持たせない、所持率を少なくするというを基本に進めていった方がいいんじゃないかなと私はそんな気がします。

西出課長

言い訳になるんですけど、一応チラシを見ていただくと「持たせない」というのが基本で、あとは小さく書いてありますので、ここが基本だということをご理解いただければと思います。

酒谷委員

下は小さく小さく書いていただきたいと思います。

山下教育長

青少年育成協議会でも持たせないというのは無理ではないかという意見があったんですけども、子ども会の人にはこれは絶対に入れてくれと、我々も思いは一緒なんです。一緒なんですけど、現実になんてなってきたら、買い渡すのは親なので、なんとか歯止めを利かすことをしていきたいなと思います。

上田委員長

また学校指導課の方にもよろしくお願ひしたいと思います。

山下教育長

今の学校向け、親向けのは、全部この真ん中になぜこれをするかというのを 5 つ書いてあります。結局今言ったライン外しとか既読無視、ライン疲れが多いことと、加賀市は小松に比べると多いので、インターネットに接続している割合が非常に高いということ、それと脳科学的データで長時間使用していると学習しても脳の中で学習したことが消えているというデータが出ているということ、全国学力調査のアンケートで長時間使用した場合は学力低下の傾向が出ているということ、実際に加賀市内でもスマートフォンや携帯によるトラブルやいじめの深刻な問題が起きていると、そういうことがあるからこれをやるんですという説明をする。こちらにはそんなこと一切書いていないですけど、それを読んで趣旨を理解していただいて、保護者の気持ちがちょっと変わらないかなと、学力低下につながるという点を一番わかっていたいただきたいなと思うんですけど。

上田委員長

新聞でも全国学力・学習状況調査が大きく取り上げられておりましたから、うまく機能していくようになればと思います。

山下教育長

それで明日、北陸朝日放送が石川県で初めての取り組みをするということで取材させてくれということだったので、受けてみようと思うんですけども、どんなかたちで流れるか、ニュースで出るのか特集なのか、できたら学校での取り組みなんかも撮りたいと言っているのですが、まだ始まっていないのでそれは後日になるかもしれませんが、また話題になれば少しは効果もあるかなと思います。

上田委員長 非常にいい機会と捉えたいと思います。以上でよろしいでしょうか。
まだまだおっしゃりたいことがあるかと思いますが、この運動の開始にあたって教育委員会での了承をいただいたということで、ご賛同いただけますでしょうか。

全委員 全員挙手

上田委員長 ありがとうございます。それでは、報告第 31 号について網谷次長お願いします。

■ 報告第 31 号 全国学力・学習状況調査の結果について
網谷次長 資料に基づき説明

上田委員長 今年度の全国学力・学習状況調査、それから先立って行われた県の基礎学力調査について、お聞きになりたいことはありませんか。はい、酒谷委員。

酒谷委員 2 番目の中学校 3 年の市平均の正答率ですが、この中に県平均値より高い学校は国語 AB、数学 A と 1 校だけですが、これは同じ学校ですか。

網谷次長 そうではないです。

酒谷委員 3 校とも違いますか。

網谷次長 その 3 校は 2 校ですね。全部同じ学校ではないんですが。

上田委員長 他に何かございませんか。

はじめに次長から説明があったように県の基礎学力調査の方は公表しないということで、全国学力・学習状況調査の方は今月公表されるのでしょうか。

網谷次長 全国学力・学習状況調査の市としての公表は今月末、今のところ 9 月 30 日に公表したいと思います。それから、10 月に入りましたら教育民生委員会の場でもそのことについての資料を提出し、説明したいと思います。

上田委員長 学校の方では検討がもう進んでいるだろうと思うんですが、前に教育委員会の方でも一つの様式が決められていたと思うんですが、このかたちで出されるのですか。

網谷次長 この会が終わりましたら、雛型が何個か出てきていますので、そのときにお知らせいたします。

上田委員長 何かございませんか。はい、中西委員。

中西委員 小学校 6 年生の点数の結果ですが、国語・算数どちらとも活用の方が点数取れているんですね。

網谷次長 はい。

中西委員 基礎の方が点数取れていないというのは、簡単なケアレスミスとか引っ掛け問題に引っ掛かっていると、何か要因としてここが悪いというのはあるんですか。

網谷次長 元々は基礎・基本に関わる A 問題を重点的に学校では力を入れてきました。ただ、活用の問題が弱点だった部分があって、各学校は活用力をつけるためにどちらかというところらに力を入れています。活用力がこれだけ伸びてきましたので、今後は当然、基礎・基本についてももちろん力を入れていきます。これはたまたまこういう結果になったということです。

上田委員長 活用能力というのはなかなか簡単に上がらないものですよ。

網谷次長 そうですね。

上田委員長 逆にだからこそ学校が力を入れたということですね。
網谷次長 例えば、沖縄とかこれまで下位に位置していた県が今年は学力調査でだいぶ伸びたという話があったと思うんですが、そういったところはこの基礎・基本にあたる A 問題がぐっと伸びているんですね。それが少し定着してくると次は活用ということになると思うんですが、加賀市ではその活用が伸びていることについては、大変成果が上がっていると思います。

上田委員長 他に何かございませんか。
次に参りましょう。報告第 32 号について、梶谷課長お願いします。

■ 報告第 32 号 マラソン開催推進室の設置と人事異動について
梶谷課長 中田課長 資料に基づき説明

上田委員長 マラソン開催推進室というのが新設されて、それに伴う人事異動が 10 月 1 日からですか。それから 9 月 30 日にマラソンの組織委員会が開かれる、その審議会に各温泉の旅館組合の組合員の方が新たに組織委員として参加するかたちになっているということですね。そしてコースの説明がございました。これらについてお聞きになりたいことがございましたらお願いします。はい、中西委員。

中西委員 このコースを見て、加賀市の地の利を生かした素晴らしいコースだと思います。

中田課長 ありがとうございます。

中西委員 どこが一番の売りだと思いますか。

中田課長 実は、私は難関・難所は 3 か所あると思っています。片山津のかぼちや村のところからターンしてすぐに登り下りの勾配が強い坂道、それから山中温泉をターンした後 28 キロ地点、ちょうど 30 キロ前の疲れているときの勾配のきつい坂、それと最後 40 キロ地点での中央公園を登る坂、この 3 大の坂をどう克服していただくか、という欠点を逆に売りにしたいと思っています。それともう一つ、トンネルを通るコースというのは全国にないことはないんですが、私の調べたところ下関マラソンに 868 メートルのトンネルを通るコースがありますが、それ以上長いコースはネット上では見つけられなかったもので、この 1.2 キロ近くあるトンネルを通るというのも売りにできないかと考えております。ローカルで競技志向には向かないコースで、参加者にとっては難コースかと思いますが、温かい各温泉の特色を出したおもてなしと、過酷なコースを克服していただく挑戦心といいますか、チャレンジ精神が掻き立てられるような広報をなんとか展開していきながら、たくさんの方にご参加いただけるような PR をしていきたいと思っています。

中西委員 標高差はどれくらいありますか。

中田課長 すみません、まだそこまではしていないんですが、標高差でいうと 20 メートルか 30 メートルくらいはあると思います。

中西委員 片山津と山中で標高差はどれくらいですか。

中田課長 それくらいだと思うんですけど、まだそこまで精査できていません。一番低いところは当然片山津の折り返し地点ということになります。一番高いところは加美谷台

中西委員 上がったところになりますので、この差が一番大きくなるかなと思っております。
これだけアップダウンが激しいと、ベテランランナーでもコースタイムが読めない
と思うんです。

中田課長 欠点を最大の売りにコピーも考えたいと思います。

酒谷委員 募集はいつからですか。

中田課長 募集は現在作業を進めておりますが、一応目標としましては11月1日から募集を開
始したいと思っております。

酒谷委員 大体どれくらいの人数を予定していますか。

中田課長 予算の関係を申し上げますと、今回はフルマラソンに2,000人を考えております。
それから、今回は10キロのコースも開催しようと思っておりまして、片山津までの
往復コースの中でとりたいと思っており、約1,000人の参加を見込んでおります。
この数字は、昨年エントリーしていただいた数字が約2,000人と1,000人だったと
いうことで、目標としましては合わせて3,000人の参加を目標としています。

酒谷委員 先日東京へ行きましたら、マラソンがとても好きな方から「加賀温泉郷マラソン、
もうなくなったね」と言われたもんですから、ちょっと心配になりました。

掛山局長 またPRしてください。去年参加した方には事前に通知しますので。

中田課長 あとは周知の仕方ですけれども、過去3回ぐらいは遡りまして、募集要項なんかも
ダイレクトメールさせていただいて周知を図りたいと思っております。それから、
今週末からいよいよ市町、県外等でも秋の陣ではないですけども、マラソン大会が
各地で毎週のように開催されますので、そちらの方にも出向きまして、募集のチラ
シですとか啓蒙活動に行ってみりたいと思います。皆さまにもそういった知人友
人の方にお一人でも結構ですので、周知のほどご協力いただきますと大変助かりま
すのでよろしくお願いいたします。

山下教育長 追加ですけども、山代中学校と橋立中学校は10月の後半に修学旅行に行きますので、
橋立中学校はわかりませんが、山代中学校は清水寺でポケットティッシュの広報
を持って行ってもらって、それを配ってもらうことになっています。このコースで
はちょうど沿道に位置する小中学校が結構あるので、本番は小中学校の生徒にも出
てもらって、応援するような田舎のおもてなしを強調できるような方法を考えてい
きたいと思います。

上田委員長 一度中止したものはどうしてもマイナスに働くでしょうから、そこを払拭できれば
と思います。

山下教育長 中西さんがさっき言われた難コースは逆に面白いと思いますか。

中西委員 僕は面白いと思います。

山下教育長 そう言っていただけるとありがたい。

中田課長 最後によろしいでしょうか。マラソン開催推進室の場所をまだ申し上げていません
でした。市民会館1階の元スポーツ課がありました場所に、今週末に電話工事等が
入って、10月1日から作業を開始したいと思いますので、どうぞお立ち寄りいただ
ければと思います。

上田委員長 市民会館1階のどこですか。

中田課長 社会福祉協議会の事務所の奥になります。元のスポーツ課の場所でございます。
上田委員長 わかりました。次に参りましょう。報告第 33 号について、宮下観光交流課長お願い
します。

■ 報告第 33 号 第 24 回芭蕉祭加賀山中温泉全国俳句大会の結果について
宮下課長 資料に基づき説明

上田委員長 ありがとうございます。何かお聞きになりたいことはございませんか。
この参加者数は例年に比べてどういう状況なんでしょうか。

宮下課長 参加者数につきましては、同じプログラムというか催しなので、過去何年かを見て
いると減少傾向にございまして、来ていらっしゃるのは同じ方かなという印象でござ
います。ただ、当日は同じ会場で地元の商工会の方が別の俳句のコンクールをや
っていたりとか、そのあたりは同時並行で違うイベントがやっていたりとか、ある
いは他の地域でも俳句のコンクールといった催しをしているので、そういった整理
ができて、もうちょっと参加者も増えるような手法がないかなというふうに考えて
おります。

上田委員長 ありがとうございます。海外の方からも応募があるんですね。

宮下課長 はい。

上田委員長 リピーターが多いのでやや減少傾向にあるということですね。他にございませんか。
次に参ります。報告第 34 号について、梶谷課長お願いいたします。

■ 報告第 34 号 第 5 回加賀市議会 9 月定例会の教育委員会答弁（案）に
ついて
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 市議会の教育委員会関係の答弁について説明がありましたように、マラソン大会に
ついて議員さんから質問がございました。お読みいただければよろしいかと思いま
す。では、その他に参りたいと思います。その他(1)について、梶谷課長お願いいた
します。

■ その他(1) 加賀市民生委員推薦会委員の推薦について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 酒屋委員さん、再任をよろしくお願いいたします。

その他(2)について、これも梶谷課長お願いいたします。

■ その他(2) 第 66 回全国植樹祭に係る招待者の推薦について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 3名以内ということになっていますね。
梶谷課長 はい。ご都合が悪ければ、2名でもよいということです。
上田委員長 変更はきかないんですね。
梶谷課長 変更もききますけども、役員改選などということになっています。
上田委員長 天皇皇后両陛下がおいでるわけですから、厳しいのも当然だと思います。教育長と委員長、事務局長は必ずということですね。残り3名というのは教育委員ということでしょうか。
梶谷課長 はい。参加できなくなった場合は速やかにご連絡ください。よろしいでしょうか。
上田委員長 よろしいようですので、残り3名は教育委員ということでもよろしくお願いいたします。提出日は9月29日必着と書いてありますが。
梶谷課長 今日会議があるということで、連絡してあります。
上田委員長 それでは、その他(3)について、梶谷課長お願いします。

■ その他(3) 石川縣市町教育委員会連合会研究大会への参加について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 16、17 ページに研究協議のグループ分けについて書いてございます。グループA、B、Cで、グループA「学校教育」、グループB「社会教育」、グループC「教育行財政」というふうに分かれておりますが、これは希望を届け出なければなりませんか。
梶谷課長 そうということです。こういう希望があるということで、細かくあります。グループAの中の1から4までございます。
上田委員長 どうでしょうか。これも日が過ぎていっているんですね。この場で決めていただけますでしょうか。
梶谷課長 まず、酒谷さんのご都合はいかがでしょう。
酒谷委員 申し訳ないんですけども、欠席させていただきます。
上田委員長 私は出ます。Cでお願いしたいと思います。
梶谷課長 Cの2かCの3ということでお願いします。畑中さんは。
畑中委員 私もCの2でお願いします。Cの1やCの3のことも話さなければなりませんか。
梶谷課長 いえ、テーマが決まっていますので、この中から選んでいただくかたちになります。
上田委員長 中西委員さんは。
中西委員 Aの1でお願いします。
掛山局長 教育長はどうしますか。
山下教育長 いずれやらないといけないかもしれないAの4でお願いします。
梶谷課長 わかりました。ありがとうございます。
上田委員長 Bは事務局の方でということですね。
梶谷課長 はい。

上田委員長 　では、その他ありませんか。

梶谷課長 　お手元の方に 9 月 19 日に定例会の最終日ですけども、畑中さんの 11 月 21 日付の辞職にともなって山下裕嗣さんが新たに教育委員になることについて、議会の承認を得ました。略歴の方には、任期は畑中委員の残任期間ということで平成 28 年 11 月 21 日までとなっております。酒谷委員は再任用ということでお願いしたいと思います。11 月 22 日土曜日になるんですけども、定例会を開きまして、教育委員の歓送迎会を行いたいと思います。4 時頃の予定で組織会ということもごさいます。また場所等のご連絡いたします。

上田委員長 　他に何かございませぬか。

梶谷課長 　では、来月の日程をお願いします。

梶谷課長 　10 月 23 日か 24 日の午前、午後どちらでも構いませんが、いかがでしょうか。23 日木曜日午後 1 時 30 分からお願いいたします。

酒谷委員 　11 月 22 日は市役所お休みではありませんか。

梶谷課長 　空いたところでやります。図書館とかもありますので。

酒谷委員 　出られるのも大変ですね。

梶谷課長 　どうしても委員さんの任期が 22 日ですので。

掛山局長 　しっかりとその日に承認していただきたいということです。

酒谷委員 　ご苦労様です。

梶谷課長 　図書館とか出先でさせていただきたいと思います。

上田委員長 　10 月の定例会は 23 日木曜日の午後 1 時 30 分からで、11 月は土曜日ですけども午後 4 時からよろしくをお願いします。

上田委員長 　1 ヶ月ほど経ってしまったんですけども、教育新聞が各自治体の教育委員長を対象にしたアンケート調査をした集計結果です。僕のところにだけ新聞が届いたので、他の皆さんにもお知らせした方がいいかなと思いコピーしました。以上です。

上田委員長 　第 14 回加賀市教育委員会定例会を終わります。ありがとうございました。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。